

金森三丁目町内会様

コミュニティ活性化のためのイベント内企画提案

成果提案資料

2023年1月14日



アジェンダ

#	アジェンダ
1	成果目標と成果物の作業範囲の確認
2-1	ご提案内容サマリ
2-2	施策案詳細
2-3	SNSの活用について
2-4	その他参考情報
3	質疑応答・意見交換
4	町内会様への依頼事項の確認

1. 成果目標と成果物の作業範囲の確認

キックオフミーティングでは、今回のプロボノの目標成果物の作業範囲・規模感を以下のように確認しました。

成果目標

ステークホルダー	現状	目標
金森三丁目にお住まいの皆様	隣近所の関係性が希薄化しつつある	非常時に住民同士が助け合える”つながり”を維持するため、負担が少なく人が集まりやすいイベントを開催できるようにする
町内会メンバー	頻繁に大規模なイベントを開催することは難しい	

成果物の種類

項目	内容
ヒアリング結果	・10/30(日)のBBQ大会時に実施したヒアリング結果を取りまとめた資料。(Word)
中間提案資料	・12/1(木)に実施した中間提案時の資料(PPT,Word)
最終提案資料	・1/14(日)に実施した最終成果提案時の資料(PPT,Word)
各種議事録	・これまでの町内会様とのMtgにおける議事録(Word)

2-1. ご提案内容サマリ

金森三丁目町内会様の課題およびこれまでのヒアリング結果等を踏まえ、顔の見える関係作りのためのイベントを提案させていただきます。

#	施策分類	アプローチ対象	施策内容	施策による効果
1	防災	<ul style="list-style-type: none"> 金森三丁目住民 町田市(防災講習の支援) 安価な防災・キャンプ用品を購入できる店舗 	<ul style="list-style-type: none"> 防災デモイベントの実施 →被災時に必要となる行動、アイテムはキャンプ用品と互換性がある 	<ul style="list-style-type: none"> 非常食の実食、屋外での生活に慣れておくことによって、被災時のストレス軽減や体の疲労に対する対策が事前にできる
2	防災	<ul style="list-style-type: none"> 金森三丁目の住民 町田消防署 	<ul style="list-style-type: none"> AEDの講習会の実施(普通救命講習) →※参加人数が20人以上の場合、消防職員が講師として出向く講習を町田消防署が受け付けている。 (参考) https://www.call-center.jp/faq_machida/faq.asp?faqno=MAC03603&sgtype=6&logid=710485701 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人の命を救う知識・技術を身につけることができる 119番通報や心臓マッサージ、人工呼吸、AEDの操作といった緊急時の一連の連携も実習するため、顔と名前が分かる程度の人間関係は築くことができる
3	防災	<ul style="list-style-type: none"> 金森三丁目の住民 防災用品の実演出張販売をする企業 	<ul style="list-style-type: none"> 防災・防犯用品の出張販売イベント →防災専門店のサービスを利用。防災用品の実演販売のほか、止血法・家具の耐震固定などの防災講座も願います。(参考) https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000016.000085456.html 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの家庭に合った防災・防犯用品を気軽に購入できる 防災講座は「親子で楽しめるロープワーク体験」などもあり種類が豊富で、年に複数回の開催もできそう。講習を通して、顔と名前が分かる程度の人間関係は築くことができる
4	防災	<ul style="list-style-type: none"> 金森三丁目住民 消防団、消防署 	<ul style="list-style-type: none"> 消防署による避難訓練/講習の実施 →密集した住宅地で道路幅が狭く避難経路の確保に問題がある場合、消防署に適切な避難についての講習をしてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時に安全な避難ができるようになる

2-1. ご提案内容サマリ

金森三丁目町内会様の課題およびこれまでのヒアリング結果等を踏まえ、顔の見える関係作りのためのイベントを提案させていただきます。

#	施策分類	アプローチ対象	施策内容	施策による効果
5	防災	・ 金森三丁目住民	・ 避難所運営ゲーム(HUG)の実施	・ 災害発生時、避難所の運営をスムーズに行うことができるようになる。
6	防災	・ 金森三丁目住民(独居世帯)	・ 独居老人への見守り活動の実施 行政(高齢者支援センター)に相談し、町内の独居老人に声がけしてもらう	・ 町内会として、町内に誰が住んでいるのか把握できるようになることで災害発生時の心理的安全性が高まる
7	防災	・ 金森三丁目住民(特にデジタル機器が苦手な方) ・ 町田消防署、消防団	・ デジタル機器を活用した防災講習会	・ 実際に災害が起こった際に、情報収集に使えるスマホのアプリケーションを全住民が普通に使える状況を実現する。
8	その他	・ 金森三丁目住民(子育て世帯)	・ 焼き芋大会の実施	・ 役員の負荷の軽減および子供をきっかけとした住民のコミュニケーション機会が増加する
9	その他	・ 金森三丁目住民(子育て世帯)	・ 子どもが大人にふるまうカレー祭り	・ 役員の負荷の軽減および子供をきっかけとした住民のコミュニケーション機会が増加する

2-2. 施策案詳細

#1_防災時の実体験 デモイベントの実施

防災

開催時期	常時
必要なもの	キャンプ用品（安価な防災・キャンプ用品を購入できる店で手配）
開催場所	金森中央スポーツ広場 自宅
対象者	金森三丁目住民（親が子供と遊び学ぶ形が理想） 町田市(防災講習)
実施方法	各家庭の日常生活で行う 防災イベントと連動する お花見やBBQイベントと連動する
関係が継続していく仕組み	遊びながら楽しく学習する内容で開催して、子供、親同士が繋がれる仕組みづくりをする。避難所の学校は各町内会と一緒に利用すると聞きました。隣接町内会と関係性を強化する形になるのが理想であり、町内の店舗で購入することはメリットがあるように思います。
どのような効果が期待できるか	<p>被災時に必要となる行動、アイテムはキャンプ用品と互換性があると思います。</p> <p>屋外での生活に慣れておくことによって、被災時のストレス軽減や体の疲労に対する対策が事前に準備できます。</p> <p>町田市の了承、協力があれば、賞味期限による商品入れ替え前に非常食の実食をする等、個人ではむずかしいものの集団であれば実現可能なことを率先して行うことができるかもしれません。</p> <p>イベント後、BBQやコーヒー等参加者の自由を優先し参加者同士が雑談・交流する形ができることが理想であります。</p> <p>また、リアルイベントでなくても金曜、土曜の夜に自宅で寝袋で寝てみるテストをして、各々感想、報告、アドバイスを「いちのいち」に書き込む程度からはじめてもいいかもしれません。</p> <p>被災時を想定して、現住所が近い人同士で班を作り、近所付き合いを活性化させるようなイベントになればいいと思います。また、町内会イベントは住民の特技、長所を見つけやすくなると思います。</p> <p>◆参照元URL https://bosaicamp.com/</p>

2-2. 施策案詳細

#2_AEDの講習会の実施(普通救命講習)

開催時期	開催日程に準ずる
必要なもの	参加人数20人以上:消防職員が講師として出向く講習を町田消防署が受け付けている
開催場所	金森中央スポーツ広場 避難指定所小中学校 町田市関連施設
対象者	金森三丁目住民(親が子供と学ぶ形が理想) 町田消防署
実施方法	官公庁イベント 他の町内会イベントと連動する(イベント情報拡散)
関係が継続していく仕組み	被災時を想定して、現住所が近い人同士で班を作り、近所付き合いを活性化させるようなイベントになればいいと思います。 避難所の学校は各町内会と一緒に利用すると聞きました。隣接町内会と関係性を強化する形になるのが理想であり、合同で講習会を行うことはメリットがあるように思います。
どのような効果が期待できるか	身近な人の命を救う知識・技術を身につけることができます。 119番通報や心臓マッサージ、人工呼吸、AEDの操作といった緊急時の一連の連携も実習するため、講習中に顔と名前が分かる程度の人間関係を築くことが期待できます。 AEDの講習会(普通救命講習)は、マラソン大会参加を趣味としている市民ランナーからのニーズがあり、20~50代のマラソン好き住民が町内にいれば参加が見込まれるかもしれません。 ◆参照元URL https://www.call-center.jp/faq_machida/faq.asp?faqno=MAC03603&sugtype=6&logid=710485701 ◆参照元URL https://www.city.machida.tokyo.jp/iryo/iryo/kenkoujyouhou/futsukyumeikoushukai.html

2-2. 施策案詳細

#3_防災用品の出張販売イベント&防災講座

開催時期	常時
必要なもの	事業者を支払う開催費用（出張先、規模、実施内容によるため都度の見積りになる）
開催場所	金森中央スポーツ広場
対象者	防災用品の実演出張販売をする企業 金森三丁目住民(防災講座については親が子供と学ぶ形が理想)
実施方法	防災専門店のサービスを利用する
関係が継続していく仕組み	防災グッズや備蓄食については「どんなものを買えばいいのか分からない」「賞味期限のある備蓄食を入れ替えるために買い物に行くのが面倒」という悩みを持つ人が多い。防災用品の出張販売イベントを定期的に行えば、ある程度の人数の住民の参加が見込める。 また、専門店の防災講座は小中学生を対象にしたものがあり、親子での参加が可能。参加した親子同士、顔見知りになるきっかけづくりになり得る。 開催費用は必要だが、実施は完全に店側にお任せできるため、町内会役員の業務負担は軽く済む。
どのような効果が期待できるか	防災専門店の中には、軽トラックで駆けつけて防災グッズの出張販売を行うサービスを展開している企業がある。具体的には、学校・自治体・防災イベントなどに駆けつけ、防災グッズの実演販売や備蓄食の試食などを行うサービスや、災害時に役立つロープワークや止血法、家具の耐震固定などについて防災士が教える「防災講座」のサービスがある。 実演販売や試食会、防災講座に参加する中で、住民たちが顔と名前が分かる程度の人間関係を自然に築く効果が期待できる。 ◆参照元URL https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000016.000085456.html

2-2. 施策案詳細

#4_消防署による避難訓練/講習の実施

開催時期	開催日程に準ずる
必要なもの	防災対策、避難訓練に関心のある住民 ※多くの参加者が望まれる
開催場所	金森中央スポーツ広場 避難指定所小中学校 町田市関連施設
対象者	金森三丁目住民(親が子供と学ぶ形が理想) 町田消防署 消防団
実施方法	官公庁イベント 他の町内会イベントと連動する(イベント情報拡散)
関係が継続していく仕組み	被災時を想定して、現住所が近い人同士で班を作り、近所付き合いを活性化させるようなイベントになればいいと思います。 避難所の学校は各町内会と一緒に利用すると聞きました。隣接町内会と関係性を強化する形になるのが理想であり、合同で講習会を行うことはメリットがあるように思います。
どのような効果が期待できるか	地域住民が災害発生時に安全な避難ができるようになるために受講します。 密集した住宅地、道路幅が狭く避難経路の確保に問題がある場合、消防署職員から適切な避難についての知識を得ることができる講習を受けることはプラスになると思います。 例えば、シニア層のために坂道、狭い道路での安全な歩行等、事前に対策できることはたくさんあると思います。 他にも避難場所の再確認、学校の出入口の数、門扉の間口、駐輪スペースの広さ等を事前にチェックすることにも繋がると思います。 ◆参照元URL https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/bouhan/bousai/machidashibousaikaigi.files/4_shiryoul.pdf

2-2. 施策案詳細

#5_避難所運営ゲーム(HUG)の実施

開催時期	開催日程に準ずる
必要なもの	避難所運営ゲーム
開催場所	金森三丁目町内会館
対象者	金森三丁目住民
実施方法	<p>町田市防災課、または町田市木曽地区自治会から無料で貸し出しされているため、あらかじめ日時を決めたうえでHUGを借りて実施する。</p> <p>実施の方法、ゲームのルールについては参考リンクを参照。</p> <p>◎町田市木曽地区協議会 chrome-extension://efaidnbnmnibpcajpcglclefindmkaj/https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/community/chikukyougikai/tikukyokouhou.files/k-kiso04.pdf</p> <p>◎町田市防災課 https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/shiyakusyo/gyomu/bousaianzen/bousai01.html</p> <p>◎HUG実施方法 https://www.hugnowa.com/%E3%82%B2%E3%83%BC%E3%83%A0%E3%81%AE%E3%81%97%E3%81%8B%E3%81%9F/</p>
関係が継続していく仕組み	参加者が相互に自由に意見を出しながらゲームを進めていくため、自然と防災に関する会話が生まれる。年次などで継続的に行うことで町内会住民間で防災に関する意識が向上する。
どのような効果が期待できるか	HUGは、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームである。プレイヤーは、このゲームを通して、炊き出し場や仮設トイレの配置などの生活空間の確保、視察や取材対応といった出来事に対して、自由に意見を述べつつ話し合いながらゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができる。

2-2. 施策案詳細

#6_独居老人等への見守り活動の実施

開催時期	随時
必要なもの	特になし
開催場所	金森三丁目住民自宅
対象者	金森三丁目住民(声掛けが必要と思われる独居老人)
実施方法	<p>町田市では、見守りの必要な高齢者に対し、高齢者の変化に早めに気づき必要な支援を行なうため、高齢者見守り支援ネットワークを実施している。自地域の高齢者支援センターに相談することで実施が可能。</p> <p>https://www.city.machida.tokyo.jp/iryu/old/shiminnokatae/seikatsukurashi/mimamori/mimamori.files/mimamori0601.pdf</p>
関係が継続していく仕組み	<p>この見守り活動は、単に高齢者の安否確認につながることはもちろんですが、若い方から高齢の方まで幅広い世代で交流をもち、誰もが安心して住み慣れた地域に長く暮らし続けられる地域づくりにつながります。高齢者支援センター・あんしん相談室等はこれらの活動を、必要に応じて支援していきます。また、高齢者への直接的な支援が必要な場合には高齢者支援センターの職員が対応します。</p>
どのような効果が期待できるか	<ul style="list-style-type: none">・見守りが必要な方の変化に早めに気づき、必要に応じて支えたり、助けることができる・地域とつながることで安心して生活ができ、孤立や閉じこもりを防ぐことができる・災害発生時に高齢者の安全な避難のための一助となる・町内会として、町内に誰が住んでいるのか把握できるようになることで災害発生時の心理的安全性が高まる

2-2. 施策案詳細

#7_デジタル機器を活用した防災講習会

開催時期	開催日程に準ずる
必要なもの	プロジェクター、デジタル機器利用の講師(市役所に相談)、各自スマートフォンを用意
開催場所	町田市の公民館等関連施設
対象者	金森三丁目住民(特にデジタル機器が苦手な方) 町田消防署 消防団
実施方法	町田市役所、他の町内会と共同開催が望ましい
関係が継続していく仕組み	<p>被災時の情報発信は、もはやデジタルを活用した形態が普通となっています。LINEやZoomなどのWeb会議システムを利用できないことは死活問題につながりかねません。また、本取り組みを行うことが、「いちのいち」や自治会のHPページ(今後作成するのであれば)の活性化にもつながる可能性があります。</p> <p>隣接町内会と関係性を強化する形になるのが理想です。町内会合同で講習会を行い、デジタルを用いた情報伝達が正しく機能する状況が確保されれば、町田市全体を助け、いざというときの災害復旧スピードの早期化や適切な援助が行われることにもつながる可能性があります。</p>
どのような効果が期待できるか	実際に災害が起こった際に、情報収集に使えるスマホのアプリケーションを全住民が普通に使える状況を実現する。

2-2. 施策案詳細

#8_焼き芋大会

開催時期	冬(開催日程に準ずる)
必要なもの	実施方法参照
開催場所	金森中央スポーツ広場
対象者	金森三丁目住民(親子での参加が望ましい)
実施方法	町田市社協作成の「親子で焼き芋プロジェクトガイドブック」を参考に実施 https://machida-shakyo.or.jp/oshirase/pdf/yakiimo-guidebook.pdf
関係が継続していく仕組み	バーベキューやお祭りなどと比較して、準備、実施の手間がかからないため、継続のためのハードルが低い。 コロナ前まで、町田市社会協議会が「親子で焼き芋プロジェクト」を展開しており、実施方法等がガイドブックとして整理されており多くの実施事例があり、継続もしやすい。過去に都営金森6丁目町内会でも実施事例がある。
どのような効果が期待できるか	子供を起点としたイベントは盛り上がりやすく、同席する親世代同士の交流にもつながるため、結果として、顔の見える関係を築くきっかけになる 旧親和会を中心としたシニア層の方々に準備のお手伝いをお願いすることにより多世代間の交流の期待がもてる



2-2. 施策案詳細

#9_子どもが大人にふるまうカレー祭り

懇親

開催時期	随時(開催日程に準ずる)
必要なもの	カレー材料、調理設備、椅子、テーブル
開催場所	金森中央スポーツ広場
対象者	金森三丁目住民(親子での参加が望ましい)
実施方法	
関係が継続していく仕組み	バーベキューやお祭りなどと比較して、準備、実施の手間がかからないため、継続のためのハードルが低い。 子どもが多く参加したバーベキュー大会の、子どもから大人へのお礼を兼ねたイベントとしてセットで開催することにより、年中行事として継続する価値が高まるのでは。
どのような効果が期待できるか	子供を起点としたイベントは盛り上がりやすく、同席する親世代同士の交流にもつながるため、結果として、顔の見える関係を築くきっかけになる 従来イベントのメインとサブの関係を逆にすることにより、大人の参加者を多く見込める期待がある。

